

# リボーン側溝・RVS側溝

NETIS掲載終了  
KT-120014-A

ノスキッド



## ●リボーン側溝・RVS側溝の特徴

1. 本体、蓋の接触面が曲面であることにより、自動車の走行による騒音が軽減されます。
2. 騒音防止用の副資材を用いないので、耐久性に優れ経済的です。排水ドレン金具を標準装備しています。(リボーン側溝500Bを除く。)
3. ノスキッド仕様もバリエーションに加わりました。

## 排水ドレンとは・・・

- ・排水性舗装において、側溝側面よりの排水が可能です。
- ・通常の舗装において沈下による水溜りを防止します。
- ・従来の側溝と相違点は少なく、経済的です。

## リボーン形状とは・・・

従来の蓋受け形状は、水平部で接触しているため車の通行により左右に移動します。また、蓋の微細な「ねじれ」により受け部と蓋が点接触となり、ガタツキが発生し音が出始めます。一旦音が出始めると止められなくなり近隣の騒音の問題となります。

リボーン形状の蓋受けは、55.60mmのアールで受け部と蓋が接触することにより写真-1の赤線部のような接触面ができ、延長方向に線接触となるためガタツキが発生しません。また、アールで拘束されているため、左右に移動することがありません。

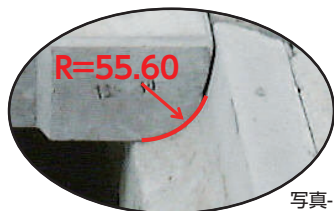
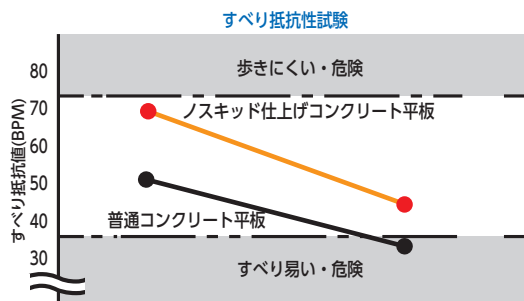


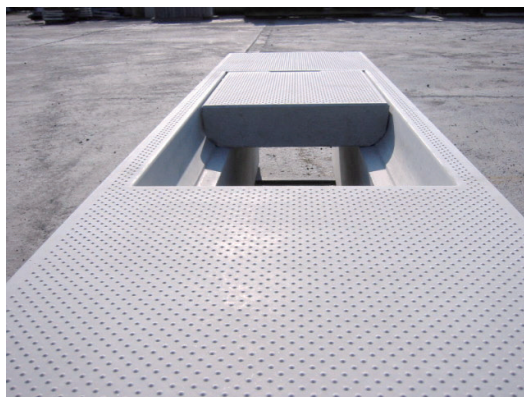
写真-1:リボーン形状  
[アール形状]

## 1.スリップ転倒事故の防止

「ノスキッド仕上げ(※P36参照)」は人や自転車・バイクなどのスリップ事故防止に役立ちます。ASTM E303を準用して測定したすべり抵抗性能の一例を右の図に示しました。湿潤状態(雨天時)でも滑り抵抗値40BPNI以上を発揮します。



試験体: 300×300×60mm  
ノスキッド仕上げコンクリート平板、普通コンクリート平板の各3体  
試験方法: ASTM(american society for testing and material) E303  
[英国式振り子滑り抵抗試験機を用いる表面摩擦特性の測定法]を準用して測定  
試験機関: (財)建材試験センター



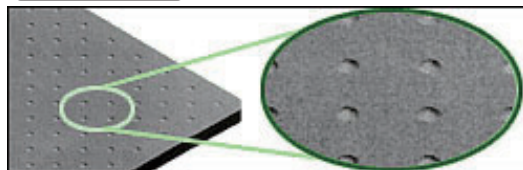
## ノスキッド仕上げとは・・・

コンクリート表面に、微小な1mm程度の円錐台状突起をドット状に設置することにより、人や自転車、バイクなどのスリップ事故を軽減します。また、微小な突起なので、歩行、走行性を損なわず、違和感がありません。

靴底や自転車のタイヤを想定したゴム板で、コンクリート突起部の接触変形やグリップ力を、CAE解析(コンピュータ・シミュレーション)し、最適な突起形状を選定しています。さらに、製品のすべり抵抗性試験によって、「ノスキッド仕上げ」の効果の確認されました。

ノスキッド仕上げコンクリート表面

## ノスキッド仕上げ



## 2.雨天夜間の走行も安全

「ノスキッド仕上げ」によりコンクリートの光反射が仕上げ前に比べて約2倍に高まり、雨天夜間においてはドライバーの視認性が大幅に改善されます。

